



いきいきサロンの活動の様子

## 第2の人生は地域貢献

谷川 成孝さん (植柳上町)

# やつしろの宝箱

vol.12

谷川さんは教員を退職後、民生委員・児童委員として現在まで18年間活動を続けています。

民生委員・児童委員は、地域の皆さんの困りごとや心配ごとなどの相談にのったり、子どもたちの見守り活動を行うなど、安全に安心して生活できる地域をつくる役割を担っています。

谷川さんの活動のきっかけは、委員の依頼があったときに夫人が言った「お父さん引き受けたら」の一言だったそうです。それからは、教員時代にはできなかった地域の皆さんとの交流を深め、お互いに助け合える絆が生まれ、民生委員・児童委員を引き受けて本当に良かったと話します。

中でもいきいきサロンの活動は活発で、これまで千回を超える開催を重ね、今では、会員の皆さんの毎週の楽しみとなつています。谷川さんも活動内容を考えたりチラシを作成するなど、参加者とともに楽しんでいます。

また、春休みや夏休みに行っている子ども達の見守り活動「うやなぎ子どもの家」は、多い時には参加者が30人を超えることもある地域に根付いた活動となりました。

「これからも元気で地域に貢献したい」と笑顔で話す谷川さん。民生委員・児童委員の活動にやりがいを感じ、充実した日々が続いています。



これまでのいきいきサロンの資料を前にほほ笑む谷川さん



## やつしろ知っ得クイズ

問合せ  
秘書広報課 ☎ 33-4101

毎月のクイズの答えを覚えていくと、八代博士になれるかも。Let's チャレンジ♪

**Q1** お祭りの楽しみのひとつといえば花火ですが、花火が鑑賞されるようになったのはいつ頃でしょうか？

1. 江戸時代 2. 明治時代 3. 大正時代

**Q2** やつしろ全国花火競技大会は「10号玉の部」「5号玉の部」「スターメインの部」の競技種目がありますが10号玉の開花時の大きさは直径約何mあるでしょうか？

1. 180m～200m 2. 280m～300m 3. 350m～450m

**Q3** やつしろ全国花火競技大会の始まりはいつでしょうか？

1. 昭和60年 2. 昭和61年 3. 昭和62年

**A1** 1. 江戸時代

**A2** 2. 280m～300m

**A3** 3. 昭和62年

昭和62年10月7日に全国22業者出品による「やつしろ全国花火競技大会」が開催されました。本大会は、日本三大花火大会の一つである秋田県仙台市の「大曲の花火」で最優秀賞（内閣総理大臣賞）受賞者など、全国有数の花火師が競い合う西日本を代表する全国花火競技大会です。有名花火師たちの技術をぜひ会場でご覧ください。

